

婦負の野



ISO9001認証取得

〒930-0143
富山県富山市西金屋6682番地
社会福祉法人めひの野園
TEL.076-436-0270
発行責任者 中田 匡
(表題書)
高岡市中川上町3の31
(故)社浦 荻水先生

万葉集で詠まれた「鵜坂川(うさかがは)」
とは、富山県の「神通川」とする説と、その支流
である「井田川」とする説がある。

表紙写真は「富山大橋」から見た「神通川」
と「井田川」の合流地点。

神通川

井田川

mehino
40th
Anniversary

特集

めひの野園のルーツをめぐる
めひの万葉歌紀行

「うさか寮」



鵜坂神社の東側、
神通川堤防の歌碑

mehino
40th
Anniversary

めひの野園のルーツをめぐる

めひの万葉歌紀行

第2回

うさかがはわた
鵜坂川渡る瀬多み

この我が馬の 足掻きの水に

きぬぬ
衣濡れにけり (大伴 家持)

——鵜坂川には渡る瀬がいくつも流れているので、私が乗る馬の足が掻きあげる水しびきで着物が濡れてしまった。

「うさか寮」と万葉集

「めひの野園」では、法人名を始め、事業所名のほとんどが「万葉集」から名付けられています。

1983年（S58年）3月に、利用者の「生活の場」として竣工した「うさか寮」の寮名は、万葉歌の「鵜坂川（うさかがは）」から名付けられました。現在は「鵜坂川」という川は存在せず、婦中町鵜坂の辺りを流れる川であろうと考えられています。



安産と縁結びのご利益がある「鵜坂神社」。

境内には大伴家持の万葉歌「売比河の早き瀬ごとに篝さし 八十伴の男は 鵜川立ちけり」の歌碑が建てられています。



「神通川」と「井田川」の合流地点は釣り愛好家に人気のスポット。



神通川河川敷の歌碑。

「鵜坂川」とは？

万葉集にある「鵜坂川」とは、現在の婦中町鵜坂の辺りを流れる「神通川」か、もしくはその支流の「井田川」なのではないかと考えられています。

「川の瀬を馬で渡ると、水しびきで着物が濡れてしまった」と詠まれていることから、「神通川」だとすると少々大き過ぎるようにも思えますが、いずれにしても神通川は古来よりたびたび氾濫し、川筋の変動も多かったため、現在とは流れが大きく変わってしまっていることは確かかなようです。

めひの万葉めぐりマップ

由緒ある「鵜坂神社」

「鵜坂」という地名は現在も残っており、そこにある「鵜坂神社」は白雉2年（651年）に創建された由緒ある神社です。平安時代から江戸時代までこの神社で行われていた「尻打祭」は「日本五大奇祭」の一つとしてその名が知られています。貞操を戒めるために女性の尻を打つこの神事は、明治時代に雌馬の尻を打つ祭に変わり、第二次大戦終戦ごろまで続きました。現在でも安産と縁結びの御利益のある神社として地域住民から敬われています。

家持が鵜坂川を渡ったのはいつ、どうして？

大伴家持は国守として越中（現在の富山県）に赴任し、天平20年（748年）の春、「出拳（すいこ）」のため越中国内を巡行しました。「出拳」とは、春に種もみを貸し付け、秋の収穫時に回収するという国司の務めで、礪波郡（となみぐん・現在の砺波市）から東へと進み、「雄神川」、「鵜坂川」、「売比（めひ）川」、「延槻（はいつき）川」と、行く先々の川で「水辺の文学」とも言える歌を詠んでいます。



鵜坂神社境内に建てられた歌碑。

「うさか寮」の変遷

うさか寮の竣工と同年には、「雷鳥工房」が建てられました。生活の場である寮だけではなく、日中活動の場となる工房も建てたのは、設立者の「職住分離」への強い思いがあったからです。「生活の場」と「日中活動の場」をしっかり区別すること。そして「利用者をただ収容するのではなく、それぞれの出来ることや得意なこと、好きなことに目を向け、仕事に結びつける」ことは、現在まで受け継がれているめひの野園の理念なのです。



1983年「うさか寮竣工式」でのテープカット。



1989年（H元年）にはうさか寮重度棟（現在の「二上棟」、「雄神棟」）が完成し、利用定員が40名から70名になりました。この増築工事には故・中曽根康弘元総理の来園が実現しました。移動のために仮設の通路を組み、そこを渡って体育館で記念撮影したことは今でも語り草になっています。



1989年、中曽根元総理が来園。足場を渡って体育館へ。



大規模修繕工事を終えた現在のうさか寮。性別や個々の特性に配慮し、4つのユニット（棟）に分かれている。

2012年（H24年）にはうさか寮大規模修繕工事が完了し、現在の姿になりました。利用者のライフスタイルに合わせた個室が用意され、個々の特性に沿った細やかな配慮が実現しています。

大河が川筋を変えながらも悠々と流れていくように、うさか寮も時代と共に変化しつつ、これからも利用者の生活を支え続けていくでしょう。

この原稿作成は歴史の勉強になります！（笑）
記・広報委員会 岡崎 秀徳



高じた趣味を仕事に活かす「めひのの職員」紹介します！



リトルシニア、高校時代の思い出が詰まったボール。

ウォーム・ワークやぶなみ
みしまの工房 ペレット班

映塩中

失敗してもいい。その経験を次に活かせばいいから。

あしたのめひの

Vol.25



試合では投打に奮闘する、まさに「めひのの二刀流」。

Q. 「中塩さんといえば野球」というイメージがありますね？
——兄の影響で物心ついた時からずっと野球を続けています。中学ではリトルシニア、高校時代は県内の甲子園常連校で研鑽を積みました。練習はもちろん、上下関係や熾烈なレギュラー争い等、厳しさもありましたが、そこで学んだことも多く、野球を好きであり続けることの大切さを知りました。今はめひの野園野球部で好きな野球が続けられることに感謝しています。

Q. 野球を続けていることは、仕事にどんな影響を与えていますか？
——「野球はチームプレー」と言われますが、これは利用者支援においても同じだと思っています。野球の試合中は、それぞれのポジションや打席での「個人の戦い」でもありますが、そこで得た情報をベンチに持ち帰り、チームで共有することが大切です。上下関係に関わらず自分の意見をぶつけることで、より良いチームを作っていくのです。利用者支援でも、それぞれの役割で感じた意見を職員間で共有し、利用者への統一した支援につなげることは、この仕事におけるチームプレーだと思っています。互いの意見をぶつけ合いながら、良

い支援につなげていきたいですね。
Q. 日々の練習で意識していることは？
——練習ではキャッチボールの時間を大切にしています。肩慣らしの意味でやっている人も多いですが、自分は腕の振りや、指や手首の動かし方、足の位置や体の重心等、一球一球試しながらボールを投げています。もし試した結果が失敗だったとしても、その経験を次に活かすことが大事だと思っています。
Q. 失敗した経験を活かすことは確かに大事ですよ。
——めひの野園で野球を始めたころ、チームメイトに楯を飛ばしたつもりが、「怖い」と思われていたみたいです(笑)。でもこの仲間たちと野球も仕事も一緒に続けているうちに「エラーも仕方がない。その分は皆で取り返せばいい」と思えるようになりました。「許容する」ということを学べたと思っています。

Q. 今後の目標は？
——自分の野球人生で、体のピークは過ぎたと感じていますが、野球に対する気持ちは今がベストだと自信を持って言えます。練習や体のメンテナンスを怠らせずにやってきたからですが、これからも今の状態に慢心せず、もっと上手くなれると信じて練習していきたいです。そして仲間たちと一緒に生涯ずっと野球をしていきたいですね。

いつも紳士的なふるまいの中塩さん。これは野球道から成るのだと納得しました。

記・広報委員会 柴田 香菜江



めひの野園のオススメ新商品を紹介します!

Mehino +

めひの プラス



家具部門と栽培・堆肥部門のコラボ商品

●●● 多肉植物のおしゃれ鉢 ●●●

めひの野園では、事業所間のコラボレーション商品の開発に積極的に取り組んでいます。
それぞれの商品の良さを掛け合わせることで思わぬ相乗効果が生まれ、オリジナリティ溢れる新商品が生まれることも…?
今回はウオーム・ワークやぶなみの「家具部門」と「栽培・堆肥部門」のコラボレーション商品「多肉植物のおしゃれ鉢」を紹介します。



9/10(土)、9/11(日)の「ハーティとやま in ファボーレ」で初披露され、ひと際お客様目を惹いていました。



「自分も欲しいと思える物を作っていきたい」と笠木指導員。

「おしゃれ鉢」のウッドスタンドを手掛けたのは「家具部門」の笠木指導員。3名の部門利用者も磨き作業に一生懸命取り組んでいます。
スタンドは3穴タイプと1穴タイプがあり、次の販売イベントに向け、色や形などのバリエーションをさらに増やして製作を進めています。

「栽培・堆肥部門」の多肉植物ポットがピッタリ収まるように作られています。使う人のアイデア次第で調味料ラックとしてお使いいただくのもいいですし、インテリアとしてもおしゃれなスタンドになっています。

今回の「ハーティとやま」を始め、様々な販売イベントに出品予定です。
商品のお問い合わせ
☎076-434-5895
ウオーム・ワークやぶなみまで
記・広報委員会 宮舟貴子



スマホと財布がやっと入るかという小さな鞆で出掛けてゆく我が娘達。次女に至っては首からぶら下げたスマホ一つの時もある。今時どこもキャッシュレスでスマホさえあれば事足りるそう。だ。
ある時、次女がコンビニでアルバイトをしていると、客から二千円札を出され「偽札か!？」と困惑したと言う。彼女に缶詰と缶切りを渡し、「開けて」とお願いしても、悪戦苦闘の末に缶が開くことはなかった。スマホでメッセージを送れば、返事は「りょ」のスタンプのみで面食らう。「了解」の略だそう。これが、ジエネレーションギャップなのか。さらに「昔話」も驚きの変容を遂げている。昭和世代は、昔話を聞き善因善果だとか因果応報だとか人生の教訓を学んだものだけれど、令和世代はというと、「赤ずきんちゃん」では、オオカミのお腹が切り裂かれることも、石を詰めて井戸に沈められることも無い。「桃太郎」では、きびだんごをあげて犬・猿・雉を「家来」として鬼退治に行くという主従関係は無くなり、きびだんごという栄養補給のアイテムをもらい「仲間」として行く。「さるかに合戦」も、「戦い」という表現が今の時代に相応しくないという理由で「さるかにばなし」とマイルドなタイトルに改められ、仲良く柿を食べるといふ何とも平和的な結末に変わってしまった。ワクワク感に欠け残念に思うのは私だけなのか。
今の世の中、便利な物が増えて嬉しい反面、昔を懐かしんで寂しく思う時もある。今、当たり前だと思っている事もいつか懐かしく思う日が来るのだろうか。

群竹

muretake

めひの野園職員の
雑感コーナー



ウオーム・ワークやぶなみ
事務員

赤澤 友子



めひの野園では、「利用者さんの出来ること、得意なこと、好きなことを活かし、仕事につなげていく」ことをモットーに支援をしています。利用者さんの中には、自分の仕事に没頭するうちに素晴らしい技術を身に付け、いつしか「めひのの職人」と呼ばれている人々がいます。そんな「キラリ!」と光る「めひのの職人達」を紹介します!

長年にわたる「本物を見て学ぶ」支援。今回の職人は人呼んで、めひのの

「パッチワーク職人」です。

めひの野園では法人設立当初から「その道のプロ」を講師に招き、「本物を見てあげる指導」に取り組んできました。それによって利用者は視覚を通して学び、時間をかけながらも素晴らしい才能を開花させた方も少なくありません。

「みしまの工房手芸班」で器用な手さばきでパッチワークを縫っている朴木千賀子さんもそんな一人。どうやってその才能を伸ばしていったのか——。法人設立前の無認可時代から手芸教室で講師をされてきた吉田啓子先生に話を聞きました。



手芸教室で寄り添うように指導する吉田先生。(写真右)

「彼女は最初、針をつまむことも出来なかったのですが、まずは興味を持ってもらうことから始めました」と話す吉田先生。当時「めひの野オヤジさん(中田勉創立者)」から「自閉症の人は言葉よりも目で見て学ぶので、まずは職員が楽しくやってみせてください」と声を掛けられたのが励みになり、実際にやってみせてあげているうちに興味が湧いたのか、針をつまむことが出来たのだそう。「最初は中指と薬指で挟んでいたんですよ(笑)。でも無理強いはいしませんでした。そのうち彼女がやり辛さ

を感じたのか、自然と正しい持ち方になりました」。その後すぐに布を縫うのではなく、まずは紙に穴を開け、そこに針を通す練習、それが出来ると次はネットに針を通す練習……と段階的に指導を続け、3〜4年かけてようやく布を縫うことが出来るようになりました。



自分が使う布を職員と一緒に選びます。

帰省中の思わぬ行動に母、涙。

そんなある日、帰省中の彼女はなぜか家に飾ってあったタペストリーを欲しがり、そこに糸を縫い始めました。それを見たお母さんは、娘が布を縫えるようになったことに初めて気づき、うれし涙が止まらなかったそうです。

そして、今では自分が使う布を選んだり、布の長さを考えて切ることも出来るようになったりと、日々進化を続けている朴木さんなのです。

吉田先生によると、彼女には「自分が選んだ布は譲らない」こだわりの一面もあるのだとか。

(記・岡崎 秀徳)



めひのスポーツ



アルペンスタジアムのカクテル光線の下、力の限り戦っためひの野園野球部。



中田監督を囲んで試合前のミーティング。照明に明かりが灯され、決勝戦の開始を待つ。

熱闘！アルペンスタジアム



頼りになる捕手に成長した保木。

声を掛け合う久郷、花崎の二遊間コンビ。



スタンドからの応援ありがとうございます！



主砲・室澤の構えに一発を期待。

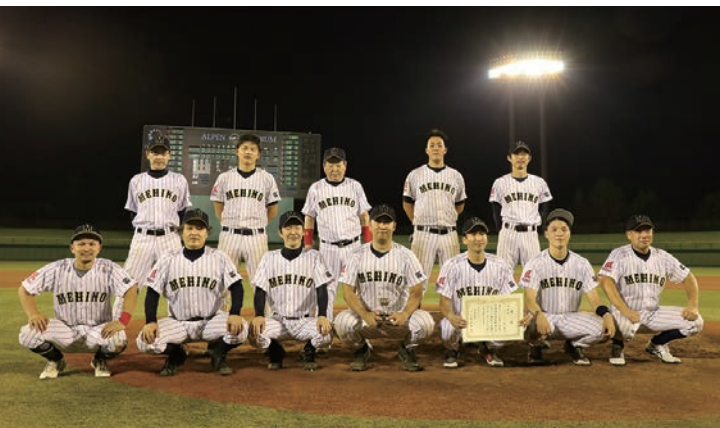
▽決勝戦(アルペンスタジアム)
めひの野園
0000000
001032x
6 0

北酸野球クラブ
(め) 中塩・保木
(北) 那智・国元

▽三塁打 那智、青木(北)
▽二塁打 那智、堀田(北)

決勝戦はナイターで行われた。人工芝の広い球場で、選手たちは声を掛け合いながら随所に好プレーを見せた。

三回に先制を許したためひの野園は、その後再三反撃を試みたが、好投手那智を擁する北酸野球クラブの好守に阻まれ、最後まで追いつくことが出来なかった。



表彰式後の記念撮影。来年の優勝を誓うナイン。

「実際の点差ほどには実力差を感じなかった」と悔しさを滲ませるのは、プレッシャーのかかる大舞台を一人で投げ抜いた中塩投手。球場の広さや慣れないナイターでの試合で本来の力を出し切れなかった選手もいたかも知れない。

しかし、強豪揃いの大会で快進撃を続け、準優勝という結果を残したナインには堂々と胸を張ってほしい。来年もこのグラウンドに立ち、今度はナイターに照らされて高々と宙を舞う監督の姿を見たいものだ。

めひの野園野球部は、8月下旬から開催された「第一回富山野球協会朝間野球大会」に出場。

新聞各社が主催する朝間野球大会に参加しているチームの中から、富山野球協会から推薦された強豪12チームが熱戦を繰り広げた。

▽二回戦(アルペンサンプ)
めひの野園
307 10
000 0

ネットトヨタ富山
(め) 中塩・保木
(ネ) 川田・竹林

▽二塁打 水井(め)

めひの野園は一回戦を不戦勝。続く二回戦は初回の水井(作業センターふじなみ)の二塁打を皮切りに大量得点。投げては中塩(みしまの工房)が零封の好投で大勝した。

▽準決勝(五福公園野球場)
めひの野園
10101 3
00000 0

本願寺クレシヤース
(め) 中塩・保木
(本) 曾我・阿部

▽二塁打 石川(本)

めひの野園は初回、室澤(ウォーム・ワークやぶなみ)の適時打で先制すると、相手の失策などで得点を重ねた。先発の中塩は8奪三振の快投で二回戦に続き完封した。

富山国際大学付属高校 家庭科部より雑巾寄贈

7月25日、富山国際大学付属高校の家庭科部の皆さんより、ボランティア活動の一環として、心こもった手縫いの雑巾40枚を寄贈していただきました。
新型コロナウイルス感染症の影響で活動が制限されるなか、昨年に引き続き寄贈していただきました。有効に活用させていただきます。ありがとうございました。



ご寄付ありがとうございました。

(2022.6.24) (2022.9.20) 敬称略

- (有)北陸白アリ 富山市
- (有)小林有機 射水市
- (有)坂東設備 射水市
- (株)奥野工務店 岐阜県 飛騨市
- 高柳オートサービス 富山市
- 佐藤理容院 富山市
- (株)日本空調北陸 富山市
- (株)流通産業 富山市
- 北陸フジクリーン(株) 富山市
- (株)中村 富山市
- (有)三和防災工業 富山市
- (株)タスキン北陸小杉営業所 富山市
- (株)ティライフ 富山市
- (株)イズミ 富山市
- サカキ産業(株) 富山市
- 北陸砂糖(株) 富山市
- (株)パロ 富山市
- 中央管機カクユー(株) 富山市
- 北陸レジン工業(株) 富山市
- (医)寺田医院 富山市
- 北陸銀行呉羽支店 富山市
- アルビス(株)呉羽東店 富山市
- (有)アイシステム 富山市

北陸総合警備保障(株)富山支社

- 東洋ゴム北陸販売(株) 富山市
- 竹田精肉店 富山市
- アイト、バックス(株) 富山営業所 富山市
- 富山国際大学 富山市
- 廣田美千代 富山市
- (有)タイセツアーズ 富山市
- (有)サン・アルスア 富山市
- 山口書店 富山市
- 山口(株) 富山市
- めひの野園保護者会 富山市
- (株)島田樹脂 富山市
- (株)鈴木一級建築士事務所 富山市
- 宮本内科外科胃腸科クリニック 富山市
- (株)北国屋商店 富山市
- 竹本潔史 富山市
- 丸丸協 富山市
- (株)スバック 富山市
- ニッタン(株)富山営業所 富山市
- 日本海建興(株) 富山市
- (株)フーディングシステム 富山市
- (株)浪速電機工業所 富山市
- 森産業(株) 富山市
- (株)トヤマデータセンター 群馬県 桐生市
- (有)フォレストスペースプランニング 富山市
- (株)タイドードリンコ北陸 高岡営業所 富山市
- 手づくりハウスくれよん 富山市
- (有)古川酒販 富山市
- ホーチキ(株)富山営業所 富山市
- 岡田裕之 富山市
- 学NHK学園 東京都 国立市

来訪者

(2022.6.21) (2022.9.20) 敬称略

- (一社)全日本自閉症支援者協会 松上 利男
- (福)北摂杉の子会 植松 芳哲 奥平 健正
- (株)伯耆のきのこ 濱松 誠一・仁平 幸恵
- (株)Leanon Me 志村 駿介
- 中央管機カクユー(株) 棚田 益功
- 北陸電力(株) 米田 大志 佐々 和哉
- 鈴木 恭佑

後援会名簿

(2022.5.17) (2022.9.16) 敬称略

- 吉鍋 俊子 富山市
- 鈴島 由貴 富山市
- 赤壁 浩子 富山市
- 竹山 浩子 富山市
- (株)門エンジンアリアング 富山市
- 泉商事(株) 富山市
- くれば製菓 富山市
- 田代 和夫 富山市
- 宮村 健一 富山市
- 奥野 日雄 富山市
- 白石 日雄 富山市
- 保木 日雄 富山市
- 中村 日雄 富山市
- (有)龍味堂 富山市
- (有)タイセイツアーズ 富山市
- 福村 知篤 富山市
- 安元 明美 富山市
- 黒瀬 乃子 富山市
- 青島 康子 富山市
- 岡崎 秀子 富山市
- 沢田 昌子 富山市
- 坂本 八重子 富山市
- 徳中 信春 富山市
- 田中 克良 富山市
- 茂利 克良 富山市
- 小林 睦子 富山市
- 倉林 睦子 富山市
- 小松 睦子 富山市
- 堀口 甚一 富山市
- 山口 秀一 富山市
- 千葉大学 立岩 友樹 小竹 孝典
- (株)リビック富山 吉田 行郷 榎原 圭弥
- (株)パロン 山本 俊介
- (一社)北陸配合飼料価格安定基金協会 元藤 映了
- 北陸銀行呉羽支店 山田 仁史 早川 隆志
- 日本海建興(株) 富崎 茂樹 高野 泰弘
- 衆議院議員 田畑裕明事務所 橋本 勝広
- 大浦靖子社会保険労務士事務所 大浦 靖子
- (株)フーディングシステム 千谷 武
- 富山国際大学付属高等学校 豊島 直子
- サントリービバレッジ(株) 山本 俊介

編集後記

みしまの工房では週に一回、手芸教室が行われている。そこにお邪魔して、講師の吉田啓子先生から園の昔話を聞くのが秘かな楽しみになっている。

当園が設立する前の「無認可時代」から利用者へ手芸を教え続けてきた吉田先生は、まさに「レジェンド」でありながら、皆から「けいこ先生」の名で親しまれている。「癒し」の存在でもある。

そんな「けいこ先生」から園の設立当初の話や、当時の利用者の様子を聞くと、それまで知らなかった驚きのエピソードの数々に、ついつい聞き入ってしまう。(サボっているのではなく、あくまで取材である。念のため...)今号で紹介した「めひののPATCHワーク職人」こと朴木さんについても、「一冊の本が出来るのでは?」と思うほど、盛りだくさんの思い出話を聞かせていただいた。

手芸教室の時間は、担当する若い職員にとっても学びの宝庫のようである。けいこ先生が「誰よりも利用者によって接している」姿や、「利用者の出来栄を見つけて、出来るような作業に結び付けている」支援の様子から様々なことを学び、他の事業所へ「果立って(?)」いく職員も少なくない。「ただ利用者へ手芸を教えに来るのではなく、利用者へ手芸を教えるだけでなく、利用者への接し方や支援の在り方を示してくれるお手本のような存在なのである。まさに「温故知新」と言いたい。未だに若々しく、利用者支援にも新しい試みを続ける先生には、ちよっぴり失礼な言葉かもしれない。(岡崎 記)

後援会振込口座番号
北陸銀行五福支店 店番号 140
普通預金 4250590
(福)めひの野園後援会

- 東 真盛 富山市
- 西 田 紀代子 富山市
- (株)トヤマデータセンター 富山市
- (特非)愛和報恩会 富山市